

将来計画委員会

委員長：清川 兼輔

委員：朝戸 裕貴、川上 重彦、多久嶋亮彦、野崎 幹弘、波利井清紀
平林 慎一、三鍋 俊春、山本 有平、力丸 英明

開催年月日：平成22年4月9日

- 主な議題：1. 基本診療科としての基礎作りについて
2. SJ誌の取り扱いについて
3. 今後の日韓、日中形成外科学会のあり方について
4. 若手育成のための Traveling Fellow について
5. National Delegate について

- 活動の概要：1. 1) 二階建ての専門医制度；日本頭蓋顎顔面外科学会、日本創傷外科学会の専門医制度が開始され、日本形成外科学会の二階建ての専門医制度として両学会との覚え書きを作成した。日本形成外科学会内に特定領域指導専門医制度を発足し、皮膚腫瘍外科指導専門医制度が開始された。今後どのような特定領域の指導専門医（例えば再建外科、先天異常外科など）を設けるかの検討を進めていく。また、手の外科学会やマイクロサージャリー学会などについては、複数科に渡る横断的専門医制度として進めていく方針を確認した。
- 2) ガイドライン；今後もガイドラインの作成を随時進めていく。また、各関係学会でのガイドラインシンポジウムを企画していく旨を確認した。
- 3) データベース；もっと使いやすいものとするため（例えば他のソフトとの互換性を高めるなど）、予算を計上する旨が確認された。
2. SJ誌については、専門医のみ冊子体を送付することとなった。今後完全に冊子体を無くすかについては、将来予算等をみながら検討していくこととなった。
3. 日韓、日中学会については、予算的に運営が徐々に厳しくなっているため、今後日本形成外科学会が主催し、会長のみが変わるシステムを導入していく旨を検討することが提唱された。
4. 若手育成のための Traveling Fellow 制度が他の学会では盛んに行われている。日本形成外科学会でもその制度を導入するかを検討していくこととなった。
5. 野崎教授（東京女子医大）の National Delegate のご辞退に伴い、清川委員（久留米大）が後任となり、山本委員（北海道大）が補助していくこととなった。また、Exco member としては、波利井教授・野崎教授より中塚教授（埼玉医大）が推挙決定された。